

令和4年度 第5回SD研修会報告（FD・SD合同研修会）

内 容	カリキュラム・ポリシーのPDCA
受講期間	令和4年10月14日（金）15：30～16：30
場 所	1号館221教室
講 師	保田昌秀副学長・IRセンター長
参加者	Faculty: 19人 Staff: 15人
内 容	
<p>11月21日、22日に本学の認証評価が行われる。そこで、今回の研修では、1.教学マネジメントと内部質保証2.IRから教学改革の2点に焦点を当て、本学がどのような取り組みを行っているのかについて、保田IRセンター長より説明が行われた。</p> <p>【内 容】</p> <p>1. 教学マネジメント</p> <p>①学習成果の評価(UNIPAを使用した授業回数管理、出欠管理、取得単位の管理等)</p> <p>②学習方法の充実(アクティブ・ラーニングの導入、授業評価アンケートによる授業内容の改善、履修コースの見直し)</p> <p>③組織的FD活動(FD・SD研修、ティーチングポートフォリオ)</p> <p>2. 内部質保証</p> <p>カリキュラムポリシーをPDCAサイクルで点検評価を実施している。</p> <p>①授業評価アンケート：学生が回答した評価を集計後、部局長会議等で改善案を考える。</p> <p>②成績評価基準の平準化：両学部共に評点の分布は類似している傾向がある。</p> <p style="padding-left: 2em;">総合的に見て、2022年度前期の成績評価基準は平準化している。</p> <p>③GPAの検証/成績分布：1年次のGPAは学部間で多少の差が見られる傾向にあるが、両学部全学年の平均GPAは、差がほとんど見られない。</p> <p>④学修ポートフォリオ：2022年度より、学生による自己点検評価は選択式で回答させる(履修カルテ)形式へ変更。</p> <p>3. IRから教学改革</p> <p>これまで、国際教養学部では初年次教育を英語のみで実施していた(科目名：リベラルアーツ入門)が、入学当初から大学生活に係わる事項をいきなり英語のみで伝えることが、学生達の“学習意欲向上”や、“大学生活への馴染み”へと繋がっているのかについては少なからず懸念があった。そこで、今年度前期より、「リベラルアーツ入門」に代わる科目として、日本語で実施される、全学共通科目の「フレッシュマン・セミナー」を開講することになった。そこでは、自身の学修や就職についてじっくり考えさせることで“学習意欲”を高め、継続した“学習習慣”を身に付けさせることに重点を置いた。前期の授業を終え、学生達の様子から、能動的学習(Active learning)を落ち着いた環境で行うことが重要と分かった。</p>	
備 考	
次回SD研修会の日程	
未定（11月中旬を予定）	